

## 2. 経営学科

経営学科には、「ビジネスリーダー」「ビジネスクリエイター」「ビジネスアナリスト」の3コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

### 【卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)】

経済学部経営学科は、以下の能力を備えた人材を育成します。

#### A 知識・技能

(DP-A1) 経営学と会計学の基本的知識を修得している。

(DP-A2) 経営と会計のデータを収集できる。

(DP-A3) 基本的な会計スキルを身につけている。

#### B 思考力・判断力・表現力

(DP-B1) 市場を意識して戦略的に思考できる。

(DP-B2) データの信頼性を的確に判断できる。

(DP-B3) 信頼できるデータに基づき論理的に意見を表現することができる。

(DP-B4) 経営学と会計学の専門用語を用いて的確に表現できる。

#### C 主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度

(DP-C1) 課題に正面から向き合い、その解決に主体的に取り組むことができる。

(DP-C2) 他者と協調・協働して問題解決を図ることができる。

(DP-C3) 多様な価値観を理解し主体的に協調することができる。

経済学部経営学科は、國學院大學経済学部の卒業認定・学位授与方針を踏まえ、上記の能力・態度を身につけるために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定するとともに、学士（経営学）の学位を授与します。

### 【教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)】

経済学部経営学科は、「卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)」に定める10の能力を身につけるために、下表に示された6つの科目区分および科目群から構成される教育課程を設けています。各科目群の教育目標に応じた重点箇所を、以下に◎および○で示します(◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている)。

科目区分/ 科目群		卒業認定・学位授与方針 (DP)									各科目群の教育目標		
		知識・技能			思考力・判断力・表現力				主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度				
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2		C-3	
学部共通科目	初年次教育	○					○	○	○	◎	○	○	経済学部の教育理念を体得し、学部での学修に必要な基礎的知識・技能・技法・態度を身につける。
	学部コア科目	◎	○	○			○	○	○	○			専門的教養に関する基礎的知識・理論・技法を学修し、学部での学修に必要な専門的基礎力を身につける。
	専門英語科目									○	○	◎	主体的かつ反復的な練習により、実践的なビジネス英会話力とビジネスプレゼンテーションスキルを身につける。

学科基礎 科目		◎	○	○	◎	○	○	○			経営学や会計学に関する基礎的知識・理論・技能・技法を学修し、経済的・経営的事象を分析するためのフレームワークを身につける。	
学科専門 科目	I類	◎	○		◎	○	○	○			経営学や企業経営に関する専門的知識・理論を修得し、現代企業の経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。	
	II類	○	○		○	○	○	○			中小企業や起業、事業承継に関する専門的知識・理論を修得し、現代企業の経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。	
	III類		○		○	◎	◎		○		経済学に関する専門的知識や理論およびデータ収集・分析手法を修得し、現代社会の経済的・経営的課題の分析と解明に向けた能力を涵養する。	
	IV類	◎	○	◎		○	○	◎	○		会計学に関する専門的知識を修得し、現代企業の経営的課題の分析と解明に向けた能力を涵養する。	
	V類	○	○		○	○	○	○	◎	◎	○	マネジメントや会計に関する基礎的知識を用いて、現代ビジネスの課題解決に向けた実践的スキルを涵養する。
学科 応用 科目	I類	◎			○	○		○	○		経営学に関する応用的・発展的知識を学修し、現代企業の経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。	
	II類	◎	○	◎		○		○	○		会計学に関する応用的・発展的知識を学修し、現代企業の経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。	
	III類					○	○		○		経済学に関する基礎的・応用的知識を修得し、現代社会の経済的課題の解明に向けたフレームワークを身につける。	
	IV類					○	○		○		経済学に関する基礎的・応用的知識を修得し、現代社会の経済的課題の解明に向けたフレームワークを身につける。	
	V類					○	○		○		経済学に関する基礎的・応用的知識を修得し、現代社会の経済的・社会的課題の解明に向けたフレームワークを身につける。	
	VI類	○							○	○		様々な経済的・経営的事象に関心を持ち、現代社会の経済的・経営的課題を発見し、解明する能力を涵養する。
	VII類						◎	○		○		情報学に関する応用的知識や技法を修得し、ICTを活用した現代社会のさまざまな課題解決に向けた実践的スキルを身につける。
専門演習 科目		○	○		○	○	◎	○	◎	○	個人的な研究関心に基づき、専門分野を主体的に学修するための知識・技能・技法・態度を身につける。	
関連 科目	I類								◎	◎	○	現代社会の経済的・経営的課題を主体的かつ協働的に解決するための実践的スキルを修得する。
	II類								○		○	具体的でリアルな現場状況を知ることによって、職業人生を主体的に選択する態度を涵養する。

## 【各コースについて】

### ビジネスリーダーコース

このコースでは、経営学と会計学を修得し、市場・組織・戦略について学び、実践力と経営スキルを磨きます。職場となる組織の中で、経営と会計の視点を十分に生かすことを土台に、リーダーシップを発揮して行動できる企業・NPOの管理職、経営者、公務員、団体職員などを養成することを目指します。

### ビジネスクリエイターコース

このコースでは、経営学と会計学を修得し、市場・組織・戦略について学び、創造力と課題解決力を磨きます。経営と会計の視点を十分に生かすことを土台に、ベンチャースピリットを堅持し、リスクに立ち向かって新しいビジネスにチャレンジする中小企業経営者、起業家、事業承継者、NPO創業者、社内起業者などを養成することを目指します。

### ビジネスアナリストコース

このコースでは、経営学と会計学を修得し、市場・組織・戦略について学び、分析力と論理的思考力を磨きます。経営と会計の視点を十分に生かすことを土台に、ビジネスをサイエンスとして分析できる一連の手法に精通した会計士、銀行員、シンクタンク研究員、事業支援者、ベンチャーキャピタリスト、コンサルタントなどの養成を目指します。

## 【カリキュラムの構成と履修方法】

- 卒業論文を履修した学生は「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」2科目4単位を必修とする。4年次前期の「演習Ⅲ（卒業論文）A」履修登録時に、教務委員・指導教員の了承を得ることにより、履修/非履修の変更ができる。それ以降の変更は、原則として認めない。
- 卒業論文の題目届は、第一次（3年次の「演習ⅡB」終了時）および第二次（4年次の「演習Ⅲ（卒業論文）A」終了時）の2回行う。題目の未提出者は卒業論文を提出することができない。また、第一次題目を登録しなかったものは、第二次題目を登録する資格を失う。
- 卒業論文を履修しない学生（専門演習をリタイアした学生も含む）は「卒業レポート演習」1科目2単位を必修とする。ただし、学科専門科目からさらに4科目8単位以上修得しなければならない。なお、学科基礎科目の超過分は2科目4単位まで算入可とする。
- 

科目区分	卒業論文履修者			卒業論文非履修者			
	履修方法	単位数	備考	履修方法	単位数	備考	
学部共通科目	初年次教育	必修	2科目4単位	*	必修	2科目4単位	*
	学部コア科目	選択必修	7科目14単位以上 <sup>※1</sup> ／10科目20単位	*	選択必修	7科目14単位以上 <sup>※1</sup> ／10科目20単位	*
	専門英語科目	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*
学科基礎科目	選択必修	6科目12単位以上 ／11科目22単位	超過分は学科専門科目へ2科目4単位まで算入可	選択必修	6科目12単位以上 ／11科目22単位	超過分は学科専門科目へ2科目4単位まで算入可	
学科専門科目（Ⅰ～Ⅴ類）	選択必修	6科目12単位以上 ／22科目44単位	★から3科目6単位および ☆から1科目2単位を含む	選択必修	10科目20単位以上 ／22科目44単位	★から3科目6単位および ☆から1科目2単位を含む	
学科応用科目（Ⅰ～Ⅶ類）	選択必修	4科目8単位以上 ／34科目68単位	Ⅰ～Ⅶ類の1つの類から2科目4単位を含む	選択必修	4科目8単位以上 ／34科目68単位	Ⅰ～Ⅶ類の1つの類から2科目4単位を含む	
専門演習科目	必修	2科目4単位 <sup>※2</sup> ／10科目20単位	演習Ⅲ（卒業論文）A・B	必修	1科目2単位 ／10科目20単位	卒業レポート演習	
関連科目（Ⅰ～Ⅱ類）	*	* ／10科目20単位	*	*	* ／10科目20単位	*	
合計		74単位以上			74単位以上		

※1 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる（次ページ以降のカリキュラム表参照）。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務付けている。したがって、学生が履修登録をする必要はなく、すべての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限に他の科目を履修登録することはできないうえ、評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

※2 次ページ以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」までの専門演習科目は、2年次前期に実施する募集期間に「演習Ⅰ」（学士・編入生および演習Ⅰ非加入者の場合は「演習Ⅱ」）に応募して合格した学生のみ受講できる。なお、合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。

経営学科

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			履修方法	履修制限／履修条件科目※1		
				1	2	3	4	リーダービジネス	クリエティブビジネス	アナリスト				
学部共通科目	初年次教育	日本の経済	半期	2	○							2科目4単位必修	2年次以降履修不可／1年次クラス指定	
		基礎演習A	半期	2	○									2年次以降履修不可／1年次クラス指定
		基礎演習B	半期	2	○									1年次クラス指定／基礎演習A
	学部コア科目		経済理論入門	半期	2	○						7科目14単位以上 選択必修	1年次クラス指定	
			世界経済入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経済史入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			統計入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経済経営数学入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経営入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			会計入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経済学史入門	半期	2		○							
	専門英語科目		社会科学入門	半期	2		○							
			Business Communication I	半期	2		○					2科目4単位以上 選択必修		
			Business Communication II	半期	2		○							
		Business Presentation I	半期	2		○								
	Business Presentation II	半期	2		○									
学科基礎科目		経営戦略	半期	2		○					6科目12単位以上 選択必修	経営入門		
		経営組織	半期	2		○						経営入門		
		経営学史	半期	2		○						経営入門		
		マーケティングの基礎	半期	2		○						経営入門		
		現代ビジネス	半期	2		○						経営入門		
		国際経営	半期	2		○						経営入門		
		ビジネスリサーチ	半期	2		○						経済経営数学入門		
		簿記の基礎	半期	2	○							会計入門		
		財務会計	半期	2		○						会計入門		
		企業財務	半期	2		○						経営入門		
	予算管理	半期	2		○					会計入門				
学科専門科目	I類	マーケティング	半期	2		○			★	★	卒業論文履修者は★を付してある科目から3科目6単位および☆を付してある科目から1科目2単位を含む計6科目12単位以上選択必修	マーケティングの基礎		
		人的資源管理	半期	2		○			★	☆		経営入門		
		経営管理	半期	2			○		★	☆		経営入門		
		生産管理	半期	2			○		★	☆		経営入門		
		組織行動	半期	2			○		★			経営入門		
	II類	日本の中小企業	半期	2		○				★		☆	経営入門	
		ベンチャービジネス	半期	2			○		★	★		☆	経営入門	
		事業承継	半期	2			○			★			日本の中小企業	
	III類	イノベーションマネジメント	半期	2			○			★			経営入門	
		データ分析の手法 I	半期	2		○						★	統計入門	
		データ分析の手法 II	半期	2			○					☆	統計入門	
		マーケティングリサーチ	半期	2			○			☆		★	統計入門	
		ゲーム理論	半期	2			○					☆	経済理論入門	
		行動経済学	半期	2			○		☆				経済理論入門	
		産業組織論	半期	2			○					☆	経済理論入門	
	IV類	原価計算	半期	2		○			☆			★	会計入門	
		財務諸表分析	半期	2			○		☆	☆		★	会計入門	
		経営分析	半期	2		○			☆	★		★	会計入門	
V類	応用財務会計	半期	2			○		☆		★	財務会計			
	ビジネスゲーム	半期	2	○							3年次以降履修不可／経営入門，会計入門			
	ビジネスデザイン	半期	2		○						4年次の履修不可／経営入門，基礎演習B			
	ビジネスソリューション	半期	2			○					4年次の履修不可／経営入門，基礎演習B			

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			履修方法	履修制限/ 履修条件科目 <sup>※1</sup>	
				1	2	3	4	リーダー	クリエ	アビ			
学科応用科目	I類	経営史	半期	2			○					経営入門	
		日本経営史	半期	2			○					経済史入門	
		製品戦略	半期	2			○					マーケティングの基礎	
		流通論	半期	2			○					マーケティングの基礎	
		広告論	半期	2			○					マーケティングの基礎	
		II類	企業監査	半期	2			○				会計入門	
		税務会計	半期	2			○					会計入門	
		公会計	半期	2		○						会計入門	
		国際会計	半期	2			○					財務会計	
		企業法	半期	2			○						
		III類	マクロ経済Ⅰ	半期	2		○					経済理論入門	
		マクロ経済Ⅱ	半期	2		○						経済理論入門	
		ミクロ経済Ⅰ	半期	2		○						経済理論入門	
		ミクロ経済Ⅱ	半期	2		○						経済理論入門	
		IV類	財政の基礎	半期	2			○					
		金融の基礎	半期	2				○					
		現代日本経済	半期	2				○					
		国際経済	半期	2				○					世界経済入門
		日本の金融システム	半期	2				○					金融の基礎
		日本経済史Ⅱ	半期	2				○					経済史入門
		V類	労働経済	半期	2			○					現代日本経済
		地域と都市の経済	半期	2				○					経済理論入門
		地域ブランド論	半期	2				○					地域と都市の経済
		ジェンダーと経済	半期	2				○					
		アンケート調査Ⅰ	半期	2			○						
		アンケート調査Ⅱ	半期	2				○					
		VI類	経済学特論 <sup>※3</sup>	半期	2			○					
		経営学特論 <sup>※3</sup>	半期	2			○						
	経済学特殊講義 <sup>※3</sup>	半期	2				○						
	経営学特殊講義 <sup>※3</sup>	半期	2				○						
	VII類	情報システム	半期	2				○				コンピュータと情報Ⅰ	
	データ処理	半期	2					○				コンピュータと情報Ⅰ	
	データ管理	半期	2					○				コンピュータと情報Ⅰ	
	プログラミング	半期	2					○				コンピュータと情報Ⅰ	
専門演習科目		演習Ⅰ	半期	2			○					基礎演習B	
		演習ⅡA	半期	2				○				演習Ⅰ <sup>※4</sup>	
		演習ⅡB	半期	2					○			演習ⅡA	
		演習Ⅲ（卒業論文）A	半期	2						○		演習ⅡB	
		演習Ⅲ（卒業論文）B	半期	2						○		演習Ⅲ（卒業論文）A	
		卒業レポート演習	半期	2						○			
		経済特別演習	半期	2						○			
		経営特別演習	半期	2						○			
		サマーセミナー	集中	2						○		要卒単位に含まない	
	スプリングセミナー	集中	2						○		要卒単位に含まない		
関連科目	I類	リーダーシップ基礎	半期	2	○							1年次のみ履修可／基礎演習A	
		リーダーシップ応用	半期	2			○					3年次以降履修不可／リーダーシップ基礎	
		政策デザイン	半期	2					○			4年次の履修不可／基礎演習B	
		II類	現代の企業経営	半期	2		○					4年次の履修不可	
		雇用と働き方	半期	2				○				4年次の履修不可	
		院友に学ぶキャリア	半期	2					○			4年次の履修不可	
		フィールドスタディ	半期	2				○				4年次の履修不可／地域と都市の経済	
		ビジネスインターンシップ	半期	2						○		4年次の履修不可	
		キャリア開発	半期	2						○		3年次クラス指定	
	職業指導	半期	2						○				

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 履修するにあたって、単位修得が条件となる科目のこと

※2 専門演習リタイア含む

※3 ( ) 内のテーマが異なれば複数履修可

※4 学士・編入、4月募集は履修条件なし